

「日本品質」の製品・サービスで まっすぐユーザーに向き合う

●リオン／リオネットプレシアII

ユーザー一人ひとりの聞こえに寄りそう。日本品質の補聴器を生み出していく。そんな理念のもと、七十一年歩み続けてきた国産補聴器メーカーが、リオンである。新製品「リオネットプレシアII」の開発秘話、そして購入後のサポートへかける思いを聞いた。



森本隆司 (もりもと・たかし)
リオン 医療機器事業部
開発部 補聴器開発三課

日本人ならではの聞こえの悩みを解消する補聴器に、一歩でも近づきたい。そのこだわりが「リオネットプレシアII」を生んだ。注目すべきは、聞き取りやすさを高める新機能「SSS Speech+ (スピーチプラス)」だ。開発を担当したリオンの森本隆司氏は「日本語の特性を考慮して、母音の聞き取りやすさに磨きをかけました」と話す。

言葉の聞き取りを左右する要因の一つに、音を聞き分ける力が挙げられる。音の区別がつかないと、言葉全体がぼやけてしまう。「SSS (サウンド・スペクトル・シェイピング) は音の成分を瞬時に分析し、母音と子音の特徴を強調して、言葉の聞き取りやすくなる機能です。今回のSSSスピーチプラスは調整可能な帯域を低域

まで広げることにより、より母音を際立たせられるようになりました。これは、日本語の聞き取りやすさを助ける大きな進歩です」

森本氏がこう話すのは、さまざまな言語の中でも、とりわけ日本語では母音が重要な役割を果たすからである。日本語は母音の聞き取りやすさが高まれば、会話のキヤッチボールもしやすくなる。

「聞こえはコミュニケーションに直結するもの。言葉の聞き取りに悩んでいる方々に、ぜひ『リオネットプレシアII』を使っていたいただきたいですね。そして、この補聴器で笑顔をお届けできればと願っています」

補聴器を耳の一部に育てるための取り組み

「お客様自身に『補聴器を使い続



三上敦史 (みかみ・あつし)
リオン 医療機器事業部
営業部 営業技術課
担当課長

と協力し、補聴器が耳に馴染むまでのトレーニング支援などに力を入れている。「例えば一週間に一度、販売店で『お客様自身による聞こえの評価』と『聞こえの効果測定』を行い、

お客様の聞こえの状態を『見える化する』ことをおすすめしています。補聴器の音に慣れるには、一定の時間とトレーニングが必要。お客様の取り組みによってどの程度聞こえが改善したのか、変化が目に見えてくると、より『補聴器を使い続ける気持ち』になっていただけると思います」と三上氏は話す。

「今後も全国に広がるリオネット補聴器の販売店と協力し、補聴器を耳の一部としていただくための『最高の聞こえ』を目指したサポートに力を尽くしていきます」日本生まれのメーカーだからこそ、リオンはこれからも、日本人の聞こえに寄りそうために、ユーザーの声に向き合い続ける。

リオネット補聴器の フィッティングポリシー

私たちは、補聴器フィッティングの全ての段階において、お客様に補聴器を使い続ける気持ちになっていただくことを最優先します。



RIONET PRECIA II
リオネットプレシア ツー

聞こえ・目立ちにくさ・つけ心地、
全てが日本品質。

日本人のための、 日本生まれの 補聴器です。

日本語の聞きとりに
こだわった新機能
Speech+

言葉の聞きとりに重要な役割を果たす「母音」に着目し、スピーチプラス新機能「SSS Speech+」を開発・搭載しました。

電池交換が簡単！

リオネット独自の「おまかせ回路」で電池のプラス・マイナスをどちら向きに入れても補聴器は正しく作動します。



リオネット補聴器
イメージキャラクター
本田望結さん

リオネット補聴器の販売店のご案内やカタログのご請求は
0120-2933-76 (受付時間 9:00~21:00) までお気軽に！

Quality of Sound, Quality of Service
リオネット補聴器
http://www.rionet.jp/

●聞こえが気になったら、まずは耳鼻咽喉科での診察をお勧めします。●補聴器は使用開始前に個々の聴覚や「聞こえ」の程度に合わせてフィッティング(調整)することが必要です。●補聴器は適切なフィッティング(調整)によりその効果が発揮されます。しかし、装着者の聞こえの状態によっては、その効果が異なる場合があります。●販売名:補聴器H1-C3CS/補聴器H1-C1CS/補聴器H1-C2CS/補聴器H1-G6CS/補聴器HB-J1CS/補聴器HB-W1CS/補聴器HB-G6CS/補聴器HB-A1CS

日本語の
聞き取りは
「母音」
も重要

お母さん

